

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | | 設置認可年月日 | | 校長名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|--------------------------------|------|------------------|---|--|-------|--|--|--------|---|------|------|-------------------------|---|----|----|-----------------------|---|----|----|-----------|---|-----|-----|
| 麻生建築&デザイン専門学校 | | 平成9年11月26日 | | 竹口 伸一郎 | | 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | | 代表者名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人麻生塾 | | 昭和26年3月12日 | | 理事長 麻生 健 | | 〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | | | | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工業 | 工業専門課程 | クリエイティブデザイン学科 (ビジュアルデザイン専攻) | | | | 平成22年文部科学省 告示第152号 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | グラフィック、色彩、印刷、WEBなどの基礎知識や技術を習得することを目的とする。また、広告制作に必要なメディア特性・マーケティングなど実践に即したデザインの流れも学習し、幅広く活躍できるデザイナーを目指す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成26年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 昼間 | 1710 | 270 | 1635 | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80人の内数 | 59人 | 1人 | | 3人の内数 | 9人の内数 | 12人の内数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期: 4月1日~8月31日 ■後期: 9月1日~3月31日 | | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■夏季: 8月12日~ 9月 6日 ■冬季: 12月25日~ 1月 4日 ■春季: 3月8日~ 4月 5日 | | | 卒業・進級条件 | 単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任および学科教員との個別ガイダンス 学科責任者との面談、三者面談の実施 各種検定対策補講、数学ゼミ(希望者) | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 広告制作会社、Web制作会社 ■就職指導内容 面接指導、履歴書指導、求人票説明・指導 ■卒業生数 25 人 ■就職希望者数 23 人 ■就職者数 22 人 ■就職率 95.7 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 88.0 % ■その他 ・進学者数: 1人 ・就職斡旋希望せず: 1人 ・未内定: 1人 (令和3年度卒業者に関する 令和4年4月1日 時点の情報) | | | 主な学修成果(資格・検定等)※3 | ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年4月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>カラーデザイン検定</td> <td>③</td> <td>25人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 福岡PayPayドーム外周喫煙所横幕デザインコンペ採用1名 * 上記以外の各種コンペは中止 | | | | | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | Illustratorクリエイター能力認定試験 | ③ | 1人 | 1人 | Photoshopクリエイター能力認定試験 | ③ | 1人 | 1人 | カラーデザイン検定 | ③ | 25人 | 19人 |
| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Illustratorクリエイター能力認定試験 | ③ | 1人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Photoshopクリエイター能力認定試験 | ③ | 1人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カラーデザイン検定 | ③ | 25人 | 19人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 2名 令和3年5月1日時点において、在学者51名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者49名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。学科責任者や保護者を含めた面談。ガイダンス記録による報告。 | | | ■中退率 3.9 % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 ・甚大な自然災害が発生した際、被災の状況に応じて校納金、入学金を減免する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 0名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | https://asojuku.ac.jp/aadc/visual/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|-------|--------------------------------|------------------------|----|
| 松田 淳司 | ゼネラルアサヒ コミュニケーションデザイン本部 第1制作部長 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | ③ |
| 井上 勝義 | クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | ② |
| 合瀬 理栄 | 国際カラーデザイン協会 九州支部 支部長 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | ① |
| 原 将史 | 麻生建築&デザイン専門学校 代行補佐 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | |
| 松本 剛太 | 麻生建築&デザイン専門学校 副主任 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | |
| 八尋 誠 | 麻生建築&デザイン専門学校 教員 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | |
| 飯田 康介 | 麻生建築&デザイン専門学校 教員 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | |

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期) 年2回 7月、12月

(開催日時(実績))

第1回 令和3年7月16日 15:40～17:00

第2回 令和3年12月10日 15:40～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
 広く業界で活用できるスタンダードな学びのブラッシュアップと並行し、個別の特性を見出し本人の強みを伸ばすような課題の構成など特性を育む学びの必要性について意見をいただいた。
 各制作課題において「コンセプト」を見出させるようにし、各自が得手不得手を自覚し、実務意識や自己学習の目標設定に繋げられるような学習指導取り入れた。そこから特性が強調された作品が作れるよう試みた。
 また、学修全体を通して、企業を志望する際の「理由」をしっかりと答えることができるようになることを意識した制作を意識させた。制作だけでなく、制作する意図を作り出せる学び、に発展していくことが個々の強みづくりへの理想であり、学生自身には定期的に見つめる機会を設け、就活前に意思決定できるよう促す流れとした。

教育課程編成委員会において、コロナ禍でコミュニケーション力の向上が見込めず業務において必要なコミュニケーション力が育つかが議題となり、その力を育めるようにすべきとの意見をいただいた。
 特に初対面ではコミュニケーションが難しく、「自分の答えを出すのを恐れている」「元気がない」といった学生・新卒も多くなっている傾向も懸念されるため、改めてオンラインでのコミュニケーションに重点を置き、社会人経験のある先輩や独立した人、全く違う職についての人などの講演や経営者の話など、様々な実情を知ること、より具体的な将来像を見聞きする機会を創出し、懸念される傾向の緩和を図っている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業からの要請等を十分に活かすために企業からのヒアリングやアンケートを行い、その結果を踏まえながらビジュアルデザイン分野に関する職業に必要な4つの分野(エディトリアル・Web・イラストレーション・デジタルフォト)の技術修得に関して、企業との連携により業界でのトレンドなどを加味した極めて実務に近い課題演習を行うことで学生のスキル向上を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・企業担当者が実務にて活用した素材や企画などを、演習にて使用
 担当者が実際担当した顧客の依頼案件に対し、どのように考え、計画し、制作したかのプロセスを示し、実際に使用された素材を学生各自が再構成していく演習を設けている。また、合わせて担当者と学生の直接のアプローチなど適時実施している。
- ・演習をより実務に近づける
 課題への取り組みの現実味の向上を目標とし、学生に「学校の課題だから」ではなく、「仕事としての約束」として取り組む姿勢を意識させる。
- ・評価は、事前に設定した評価基準に基づき、連携企業の講師が課題の完成度を評価する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|---------|---|-----------------------|
| デザイン概論Ⅱ | 広告・企業とデザインといった視点から、体系化された実務に近いデザイン論を学ぶ。 | クリエイティブ・ルーム ERNEST |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名:「あつまるデザナレ 2021」(主催:株式会社ビビット)
 期間:令和3年9月17・18日 ※オンライン ZOOM 専任教員
 内容:デザイン実務の「ホント」があつまるカンファレンス
- ・研修名:「魅力ある地方大学作りへの一提言～「学修成果の可視化」の実践報告～」(主催:デジタルハリウッド株式会社)
 期間:令和3年10月29日 ※オンライン ZOOM 専任教員
 内容:「学修成果の可視化」の実践報告と今後の課題

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「個別対応力強化研修」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
 期間:令和3年8月18日、令和4年2月16日 ※オンライン 対象(参加者):専任教員
 内容:講義+個人ワーク+グループワーク

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 ・研修名:「モリサワフォントセミナー フォントと組版について2022」(企業等:モリサワ)
 期間:令和4年 日にち未定
 内容:フォントと組版の相関性とその成り立ちと有用性など、最新の同行を踏まえた内容。

② 指導力の修得・向上のための研修等
 ・研修名「アサーティブコミュニケーション」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
 期間:令和4年8月17日、令和5年2月15日 ※オンライン 対象(参加者):専任教員
 内容:講義+個人ワーク+グループワーク
 ・研修名「授業におけるファシリテーション(対面授業編)」(連携企業等:株式会社ONDO)
 期間:令和4年8月31日 ※オンライン 対象(参加者):専任教員
 内容:講義+個人ワーク+グループワーク

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価しHP等を通して公表する。また、学校関係者評価委員会は、本校の関係者として、保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|------------------------------------|
| (1) 教育理念・目標 | 法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他 |
| (2) 学校運営 | 運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他 |
| (3) 教育活動 | 業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向 |
| (4) 学修成果 | 教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他 |
| (5) 学生支援 | 修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他 |
| (6) 教育環境 | 教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他 |
| (7) 学生の受入れ募集 | APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切 |
| (8) 財務 | 財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開 |
| (9) 法令等の遵守 | 専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | 社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他 |
| (11) 国際交流 | 留学生の受入れ、支援体制 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
 コロナウィルスの感染症流行下において、教育の進行や募集の進行など適切にあるいは柔軟に運用できているのか確認の声が多かった。広告デザイン業界では近年、インターネット(Web)などの電子媒体の市場拡大が著しく、その中でマーケティングを意識した業務が活発化している。現状のようなコロナ禍でもネットワークサービスを基盤とする電子媒体の制作需要があり、ビジュアルデザイン専攻のWeb関連科目を重点教科として学修させ、今後もさらにバランス調整を検討している。また、卒業生からのヒアリングからもWebスキルニーズの傾向は明らかであり、今後もWeb関連科目の授業内容改善を継続していくことが重要となる。クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻での、Webコンテンツ制作関連の科目では例年課題の刷新を行っており、よりビジュアルグラフィックに対してマーケティングによる訴求という点に主眼を置いたものが増加した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|------------------------------------|------------------------|------|
| 尾崎 由美子 | 建築工学科 在校生 保護者 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | 保護者 |
| 玉ノ井 健人 | 令和3年度 建築工学科 卒業生 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | 卒業生 |
| 市川 仁士 | 福岡県立 福岡工業高等学校 校長 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 高等学校 |
| 小林 芳光 | 博多区博多駅南第4区自治会 民生委員 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 地域住民 |
| 元木 昭平 | ウムデザインオフィス 代表 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 有識者 |
| 井上 勝義 | クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 有識者 |
| 太田 昌宏 | 愛知産業大学 教授 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 有識者 |
| 宮本 清美 | 株式会社エイジェック 課員 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年) | 企業 |
| 和田 義一 | 株式会社 大設計 代表取締役 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 企業 |
| 高崎 強 | 株式会社 久米設計 九州支社 支社長 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 企業 |
| 中野 貴嗣 | 株式会社 九州三田技術コンサルタンツ 設計関連センター センター長 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 企業 |
| 高木 秀樹 | 株式会社 住まいえ 代表取締役 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 企業 |
| 板橋 正志 | 株式会社 ダイキエンジニアリング 取締役 人事本部長 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 企業 |
| 松田 淳司 | ゼネラルアサヒ コミュニケーションデザイン本部 企画デザイン部 部長 | 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年) | 企業 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aadc/2021/hyoka.pdf>

公表時期: 令和4年5月18日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等との連携及び協力により、実践的な職業教育の質の向上を推進するため、教育活動及び学校運営の状況について情報を提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|--|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | 教育理念、歴史、教育目標、ASOの考え方 |
| (2) 各学科等の教育 | 入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報 |
| (3) 教職員 | 教員一覧及び実務家教員科目 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | 就職サポート、GCB教育、企業連携 |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | 学園祭・部活動・サークル活動、学外ボランティア |
| (6) 学生の生活支援 | 生活環境サポート、学生寮、就職サポート、留学生サポート |
| (7) 学生納付金・修学支援 | 学費とサポート、学習支援(各種支援制度) |
| (8) 学校の財務 | 事業報告書、貸借対照表、終始計算書、財産目録、監査報告書 |
| (9) 学校評価 | 自己点検・評価、学校関係者評価 |
| (10) 国際連携の状況 | 留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育 |
| (11) その他 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧)

URL: <https://asojuku.ac.jp>、<https://asojuku.ac.jp/aadc>

授業科目等の概要

| (工業専門課程 クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|------|---------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | ○ | | 色彩学 | ビジュアルデザインで重要となる色彩学を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 2 | ○ | | GCB I | グローバルシティズンの育成をめざし、感謝心と思いやりをもった人材を養成する。 | 1前 | 15 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 3 | ○ | | GCB II | グローバルシティズンの育成をめざし、ビジョンと志をもった人材を養成する。 | 1前 | 15 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 4 | ○ | | ビジネスマナーA | ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(立ち居振る舞い・敬語・ビジネス文書) | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 5 | ○ | | ビジネスマナーB | ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(交際業務・来客対応・電話対応) | 1後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 6 | ○ | | 卒業制作B | 集大成となる制作を通じ、身につけた最大限を発揮した作品の制作を行う。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 7 | ○ | | 就職実務 I | 就職をするということ、デザイナーとして求められる人材像を考えながら仕事について、働くことについて考えていく。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 8 | ○ | | 就職実務 II A | 就職活動における、書類制作や面接についてより具体的な作業を行う。 | 2前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 9 | ○ | | 就職実務 II B | 各学生の就職活動の支援。履歴書の書き方や面接の受け方等を、個別にサポートする。 | 2後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 10 | ○ | | ビジュアルデザイン演習 I | デザインワークの中でも「アイデアカ」の基礎強化、習得を目的とする。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 11 | ○ | | Illustrator演習 | Adobe Illustratorの基本操作と、それにともなった演習を行う。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 12 | ○ | | Photoshop 演習 | Adobe Photoshopの基本操作と、それにともなった演習を行う。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ | |

| (工業専門課程 クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|------|------|---------------|--|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 13 | ○ | | | DTP概論 | DTP実務にて必須となるデータの入稿方法など基礎知識を演習形式で学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| 14 | ○ | | | DTP演習 I | DTP実務にて必須となるデータの入稿方法などを実践に則した形で習得する。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| 15 | ○ | | | コピーライティング I | 広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 16 | ○ | | | デッサン・クローッキーA | 静物・石膏などの立体物を主に、デッサンの基礎を学び、描画力を身につける。 | 1前 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 17 | ○ | | | デッサン・クローッキーB | デッサンの基礎トレーニングを継続し、描画力の維持向上を図る。彩色表現など多様な表現のためのトレーニングを行う。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 18 | ○ | | | デザインリテラシー | 著作権やデザイン文化など、デザイナーとしての一般的教養を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 19 | ○ | | | デザイン概論 I | 広告・企業とデザインといった視点から、体系化されたデザイン論を学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| 20 | ○ | | | InDesign 演習 I | Adobe InDesignの基本操作と、それにともなった演習を行う。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 21 | ○ | | | Web デザイン演習 I | Webデザインにおける、ビジュアルデザインに関するリテラシーと制作手法を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 22 | ○ | | | Web 基礎演習 A | Webの基本的な仕組みの理解と HTMLとCSSの仕組みを理解する。コードの意味を理解し、Dreamweaverでマークアップできるようになる。 | 1前 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 23 | ○ | | | Web 基礎演習 B | 通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 24 | ○ | | | PCリテラシー | MicrosoftOfficeの基礎知識と基本操作を習得する。情報リテラシーを身につける。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| 25 | ○ | | | プレゼンテーション I | 各自が作ろうとしている物を知ってもらうためのプレゼンテーションを学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ |

| (工業専門課程 クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|------|----------------------|---|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | ○ | | パッケージデザイン演習Ⅰ ※A | パッケージ制作に必要なスキルや考え方を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 27 | ○ | | エディトリアル上級演習Ⅰ ※A | Adobe InDesignを使用した、誌面構成を主体として学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 28 | ○ | | デジタルフォト演習Ⅰ ※A | 一眼レフカメラを使用した撮影技法を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 29 | ○ | | Webデザイン上級演習Ⅰ ※A | Webデザインにおける、動的サイト構築に関するリテラシーを学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 30 | | ○ | イラストレーション演習Ⅰ (選択) | キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。 | 1後 | 15 | 1 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 31 | ○ | | ビジュアルデザイン演習ⅡA | デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 32 | ○ | | ビジュアルデザイン演習ⅡB | 発案したアイデアに最適な表現方法を選択し、訴求力の高いデザイン手法による表現を身につける。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 33 | ○ | | WEBデザイン演習Ⅱ | 現実的なWEBサイトの構築を学ぶ。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 34 | ○ | | DTP演習ⅡA | DTPでの入稿データ制作を目的とした、極めて実務に近い実技演習を行う。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 35 | ○ | | DTP演習ⅡB | 印刷物の入稿データのルールに沿った制作を行い、実務で用いる事例について学んでいく。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 36 | ○ | | ペイント技法A | エンボスカードやポスターや絵画の制作を行う。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 37 | ○ | | ペイント技法B | サイズの大きいポスター制作に臨む。アイデアの創出から基本的な構想、表現手法の選択、制作計画等を踏まえた制作に臨む。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 38 | ○ | | プレゼンテーションⅡ | 資料の演出やストーリーを意識した高度な演習を行う。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ | |

| (工業専門課程 クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|------|------|-------------------|--|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 39 | ○ | | | ブランディングデザイン | 制作物を一連の統一されたデザイン郡として捉えたブランディングを行う。 | 2後 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 40 | ○ | | | デザイン概論Ⅱ | 企業と顧客をつなぐ広告やプロモーションに着目し、販売促進のためのデザインやデザインの社会的役割について学ぶ。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 41 | ○ | | | エディトリアル上級演習ⅡA | 一貫したテーマを持った誌面構成の作成について学び、より実践的なエディトリアルデータの作成を行う。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 42 | ○ | | | InDesign 演習Ⅱ | InDesignを用いた実務的なデータ制作手法について学ぶ。エディトリアルデザインへつながるページデザインまとまりについて学ぶ。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 43 | | ○ | | パッケージデザイン演習ⅡA ※B | パッケージ制作の実例について学び、自作パッケージのための習作を行う。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 44 | | ○ | | デジタルフォト演習ⅡA ※B | 一眼レフカメラ、照明器具の使用法を踏まえ、多様な表現のあり方を学ぶ。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 45 | | ○ | | コピーライティングⅡ ※B | 広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。実例を挙げ演習形式で制作を行う。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 46 | | ○ | | Web デザイン上級演習ⅡA ※B | 企画から制作まで一貫した実践的コンテンツ制作を学び、制作の各段階に必要な知識を習得する。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 47 | | | ○ | イラストレーション演習Ⅱ(選択) | 基本操作をもとに実務的な活用シーンを想定したイラストレーション制作を行う。 | 2後 | 30 | 2 | | ○ | | | | ○ | |
| 48 | | ○ | | パッケージデザイン演習ⅡB ※C | I、ⅡAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるパッケージ制作を行う。 | 2後 | 15 | 1 | | ○ | | | | ○ | |
| 49 | | ○ | | エディトリアル上級演習ⅡB ※C | InDesign演習、エディトリアル上級ⅡAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるエディトリアル作品の制作を行う。 | 2後 | 15 | 1 | | ○ | | | | ○ | |
| 50 | | ○ | | デジタルフォト演習ⅡB ※C | I、ⅡAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるフォト作品の制作を行う。 | 2後 | 15 | 1 | | ○ | | | | ○ | |
| 51 | | ○ | | Web デザイン演習ⅡB ※C | Webペーに限定しない、各自テーマによるWebコンテンツ制作を行う。 | 2後 | 15 | 1 | | ○ | | | | ○ | |

| (工業専門課程 クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻) 令和4年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|------|------|-------|-------------------------------------|---------|------|----------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 52 | ○ | | | 卒業制作A | 展示会を目的とし、各自がテーマを持ち学科を象徴した作品群の制作を行う。 | 2後 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 合計 | | | | | | | 52科目 | 1905時間 (127単位) | | | | | | | | |

※選択必修(※A、※B、※C)より、それぞれ2科目以上を選択

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|--|--|----------|-----|
| ①最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 ②出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 ③国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 ④学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。 | | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | | 1学期の授業期間 | 15週 |